

# 子どもの読書活動

学校・園の取り組みを紹介します③

☎ 社会教育課 ☎・☎ (582) 1142 ☎ (581) 2733

## 守山小学校

### 「本に親しもう」

守山小学校の1週間は、月曜日の朝20分間の読書タイムから始まります。一人ひとりが静かに本に浸るひとときです。

低学年の学級には、その時間に図書ボランティア「ひだまり」さんが各学期に数回、季節に合わせた本などを読み聞かせに来てくださり、子どもたちはとても楽しみにしています。

また、図書委員会の子どもたちは、みんなにたくさん本を読んでもらおうと「スタンプラリー」を企画しました。図書室のカウンターは、本を借りたい子どもたちで長蛇の列となり、大盛況でした。

これからも本に親しむ取り組みを進めていきたいと思ひます。



## 守山中学校

### 「15日は守中読書の日」

守山中学校では、全学年において朝読書を取り入れています。また毎月15日に「守中読書の日」を設け、図書委員による本の紹介を行っています。

「読書の日」では、月ごとにテーマを決め、そのテーマに沿った本を図書委員が選び、紹介しています。紹介の仕方<sup>しかた</sup>もパワーポイントや放送など、趣向を凝らした発信をしています。

今後は、図書室内での本の紹介コーナーを設置するなど、全校の生徒が取り組めるような読書活動を提案し、発信していくことで、読書活動を活発にしていきたいと考えています。



佐川美術館 アートコララム<sup>28</sup>

## デザインのちから

学芸員 佐川美術館  
馬場まどか



デザインという言葉聞いて、皆さんがパツと思ひ浮かべるのは何でしょうか。エレガントなファッションやかっこいいロゴなど、さまざまなのが想像できます。デザインとアートって同じじゃないの？と考へている方も多いかも思ひませんが、実は異なる性質のものなのです。

ざっくりと考へているので、その違ひを少し掘り下げてみます。デザインには問題を解決する役割があります。何かの問題点を解決するために、見やすくしたり、わかりやすくしたりすること。つまり、デザインの本質とは誰が見ても同じ情報を受け取ることができることなのです。一方、アートで一番必要とされるのは、自分の思ひを作品に込めることです。絵画や彫刻などアートの表現方法はさまざまですが、それをどう受け取るかは鑑賞者への問題提起ともいえます。これがデザインと、人によってさまざまに解釈が生じるアートとの、根本的な違ひです。

印刷物においてもデザインの力は働いています。商品パッケージはその最たるものですが、今皆さんが読まれている広報の文章やレイアウトも、読みやすいように行間や字間の調整はもちろんのこと、読み手が受け取りやすいようにデザインされています。

あらゆるところにデザインの力は働いています。デザインは解決したい問題に各々が持つデザインのエッセンスを加えています。私たちはその中から自分の感覚に合うものを選択しているのです。最後にこの「コララム」の各段落の初めの文字をつなげてみてください。「でざいんあ」。見つけられましたか。現在、当美術館で開催中の展示イベント名です。デザインにはこういうこともできる力があります。

※「デザインあ展」については22頁をご覧ください。